

分科会

2016年6月26日

今年の分科会は3つのテーマに基づいて開催されました。

第1分科会は「大規模化と事業連合化の時代に考える生協とガバナンス」と題して、協同組合にとっての大きな課題である組合員に基づいたガバナンスをいかにつくりあげ、強めていくかを論点とし、コープみらいと生活クラブ生協という、2つの対照的な生協にご登場いただき、実践報告と合わせて意見交換をおこないました。

第2分科会では「暮らしに気づく・暮らしを支える～生協にできること」というタイトルのもと、くらし福祉研究会の企画で、「くらしの困り事とは何か」「地域に必要な資源とは何か」を研究者本人の体験などに基づいて、具体的に検討・交流しました。

第3分科会は「原発被災と協同」というタイトルで、震災から5年が経ちながらも、いまだ十分な解決や復興にも至っていない状況を踏まえ、帰町政策の実際と地域の連帯の展望、そこでの協同組合の課題、そして福島原発災害の過去・現在・未来についての考察を、実践と研究者の報告に基づいておこないました。

いずれの分科会でも、報告者から充実した発表がなされただけでなく、多くの参加者から発言をいただき、まさに参加者全員で議論を深めることができたと思います。議論からの学びを、これからのそれぞれの活動に存分に活かしていただきたいと思います。

(本誌編集委員 加賀美太記)

分科会で報告・コメントをいただいた方々

第1分科会



河田 喜一氏



加瀬 和美氏



小池 恒男氏

第2分科会



中川 順子氏



上野 勝代氏



土居 靖範氏

第3分科会



伊東 達也氏



向井 忍氏



八木 紀一郎氏



久保 建夫氏